



豊かさに質と心を

1986-87

4

世界を結ぶ まごころ奉仕！

WE SERVE

ライオンズクラブ国際協会

333-C 地区ニュース



握手をする菊岡県警本部長と333-C地区ガバナー L.平井 勇

写真撮影:PR情報委員 L.中村 新一郎



Bring Quality To Life

豊かさに質と心を

極左暴力集団の「テロ・ゲリラ」多発で

激動の61年！

許容量を超えて奉職する千葉県警察官。



▲ 左から L.高尾PR情報委員 333-C地区L.平井ガバナー 菊岡県警本部長 山形県警総務課長

我々ライオンズクラブは、地域社会とその環境が、平穏で平和な日々でありますようにと願って、クラブ員一人一人が努力を重ねている訳である。私共の手の届かない所で、様々な事が起こっている。すでに61年中に発生した事件・事故が、新聞やテレビをよく賑わしている通りである。我々は防止対策の一環として、健全な子供等をより健全に育成して、強く正しい子供になるように手助けしている。すでに非行に走った子供等は保護下に置き、更生への道を開いている。これ一つを取っても奉仕以上にむずかしく、高度な導き方が要求される。今千葉県は首都圏の発展拡大の影響を受けて、人口の増大や産業の発展と、正に発展途上にある。これに正比例するかのように、青少年問題を初めとして交通問題・各種犯罪、中でもクローズアップされる「極左暴力集団によるテロ・ゲリラ活動」、加えて経済犯罪として新しく登場してき

た不正商品による詐欺など、益々巧妙な手口による犯罪行為がはびこってくると推測している。

千葉県警は、これらの発生防止対策と犯人検挙に真正面から取り組み、安全で平穏な市民生活が出来るよう、対応許容量をすでに超えた状況下で日夜頑張っている。

▶ 高尾PR情報委員長

私共ライオンズクラブと警察の方々とはいろいろ関連が多い訳ですが、まあ県内に於いてもいろんな事例があると思います。私共の協力と努力によって減少させる事が出来るなら、誠に結構なことではないでしょうか。ともあれ日本は今、世界有数の法治国家でもあるので、皆さんと一緒にになってお手伝いが出来るのならと思いまして、平井勇ガバナーの就任挨拶を兼ねての対談、よろしくお願い致します。



豊かさに質と心を

平穏で住みよい社会作りに寄与する共通 の目的に向かって、県警の状況を聞く！

千葉県警察本部長

333-C地区ガバナー

菊岡 平八郎氏とL.平井 勇の対談

▶ 平井ガバナー

普通の奉仕ではなく「真心の奉仕」を目標に掲げて、この度ガバナーに就任いたしました平井勇です。よろしくお願ひ致します。

▶ 菊岡県警本部長

私の方こそよろしくお願ひします。

▶ 平井ガバナー

千葉県の一般治安情勢と警察の体制について、先ずはお伺いします。一般的なお話になりますが……。

▶ 菊岡県警本部長

東京湾を含む首都圏が目覚ましい発展を遂げている中でも、特に千葉県は産業や人口などあらゆる面で急激な拡大発展を続けていますが、これに比例した形でその歪みとしての、警察が扱う事件・事故が年々多発し増加している状況です。

これに加えて他の府県に無い大きな仕事として、「成田空港反対闘争」の警備という問題が千葉県警察に課せられております。

千葉県は、東京都と神奈川県を合わせた面積より多い5.145平方キロメートルという広大な県土と、全国第8位の523万人という人口を擁し人口増加率は全国第1位となっていますが、犯罪（刑法犯）の発生件数は昨年が約9万件で全国第6位であったのが、今年は更に増加して、既に8万件を越えて東京・大阪・神奈川に次いで全国第4位となっています。

刑法犯の関係では、多いのは窃盗（泥棒）で、昨年一年間で見ますと殺人・強盗等の凶悪犯は減ってきています。反面多くなってきたのは乗り物関係の窃盗です。路

上や駐車場に置いてある自動車・オートバイ・自転車やその中の金品などを盗む事件です。地域的には、東京に近い京葉東葛地域です。この地域だけで、県全体の78パーセントの犯罪発生となっています。

車の関係では、昨年の12月末迄で180万台、他にバイク（原付）が57万台で合計237万台、県内にモーター付きの車が走っている訳です。免許証を持っている方が、現在220万人で全国第7位。16歳になるとバイクの免許証が取得でき、18歳から普通自動車免許証が取得出来るのですから、免許取得可能人口の2人に1人は、免許証取得者と言う訳です。大変なモータリゼーションとなって進んでいる状況です。

▶ 平井ガバナー

16歳以上の免許取得可能人口の半分が、何らかの形でモータリゼーションとの係わりの中にあるのですから、交通整理や事故処理など大変なことでしょうね。

▶ 菊岡県警本部長

交通事故は昨年で1万8千件、交通事故による死者が438名、これは全国で4番目です。悪い方で言えば、犯罪件数がワースト4位、交通事故死がワースト4位。これを見ても、県内における様々な事件・事故が本当に多いことがお判りになると思います。

これに比較して、千葉県の警察官数は約7,000人で全国で9番目ですから、当然仕事の負担が多くなってくる訳です。警察官一人当たりの人口負担数は、全国平均で55人。千葉県の場合は749人で、全国で3番目。犯罪発生件数は警察官一人当たり13件の負担。全国平均では昨年は7.5件。いずれにせよ全国で第一位となっています。



豊かさに質と心を

こうした中で成田空港反対闘争の警備もやっている訳です。反対闘争は昭和41年から今日まで20年間も続き、これからも「二期工事阻止」に向けてエスカレートすることが予測されます。

これまでの20年間に、反対闘争の警備で警察官5人が殉職し、3,806人が負傷するという尊い犠牲を払っており、警備に出動した警察官の延人数は108万人に及んでおります。

「安全で平穏な県民生活の確保」を目標に全員が頑張っている。

▶ 菊岡県警本部長

県警察としては、「安全で平穏な県民生活の確保」を目標に掲げ、これを達成するための活動重点として

- 極左暴力集団に係るテロ・ゲリラの断固根絶
 - 凶悪犯・窃盗犯及び重要知能犯の予防と徹底検挙
 - 交通事故の抑止と暴走族の徹底検挙
 - 少年非行の防止と風俗環境の浄化
 - 暴力団の徹底取締りと銃器・覚せい剤事犯の根絶
- の5本柱により厳しい治安情勢の中ですが、警察官全員が「一騎当千の治安のプロ」として各方面で成果を挙げるよう頑張っている次第です。

▶ 平井ガバナー

「安全で平穏な県民生活の確保」をモットーに、大勢の警察官が奉仕同様に頑張っていらっしゃるのですね。大変ありがとうございます。

今、県警は少年非行防止対策として「タッチヤング活動」を行っている。

▶ 平井ガバナー

千葉県内に於ける少年非行関係についてお伺いしたいのですが……。

▶ 菊岡県警本部長

少年非行も全体的に増えています。今年に入ってから、特に非行少年による凶悪な事件が昨年と比べると増えています。

▶ 平井ガバナー

学校等とのタイアップを何かしているような事がありますか？

▶ 菊岡県警本部長

各警察署に「学校警察連絡協議会」があり、お互いに連携してやっています。

ただ、校内暴力というのは多少減少気味です。「いじめ問題」は昨年来社会を賑わしていますが、県内では殺人未遂が1件、放火事件が1件、傷害事件が1件となっています。例えば放火などは中学校で同級生にいじめられた子が、中学を卒業して高校へ進学すると、いじめた子も同じ高校に進学している。そこで『火を付けて家を燃やしてしまえば、もう学校へ来ないだろう』と言う思い余った結果の事件がありました。今年に入ってからのいじめでは、傷害事件が1件だけです。

子供の関係では、先程の話の中に出て来た窃盗（泥棒）が多いこと。昨年一年間で12,320人を刑法犯で検挙したのですが、この内6,161人丁度半分が少年です。内容は万引きや自転車泥棒などで、少年非行の中でも75パーセントが刑法犯である事が大きな問題でしょうね。

もう一つ、「シンナー」とか「覚せい剤」乱用問題がありますが、去年の9月までにシンナー乱用少年2,138人を補導しましたが、前年に比べると168人8.5パーセントも増えています。覚せい剤の方では乱用少年51人、昨年比では7人多く、16パーセント増となっています。非行少年が全体的に増加傾向で、しかもその中身もかなり心配される状況となっています。

少年問題につきましても、それぞれの地域で協力をして頂いておりますが、警察としては非行を防ぐ意味で「タッチヤング活動」を行っております。学校の登下校時とか、子供たちが非行に走らないように守る努力をしています。

▶ 平井ガバナー

私も青少年育成活動は、やはり非行化防止の一環と



豊かさに質と心を

して各地域でいろんな事を行っております。県下各地域を訪れてみましたら、やはり子供たちと遊ぶ事を中心やっていました。特にスポーツが盛んでしたね。主催の殆どが、LCからの運営費拠出で行われています。その一つに四街道クラブ員協力による、ボーイスカウト隊と一緒に成東までの32キロメートルを歩くのも、10時間近くかかる大変な事でしたが、いい事と思っています。

▶ 中村PR情報委員

千葉エコーLCでは、11月13日に行われた四街道の白井中学校における第22回市内中学校弁論大会とまではいきませんが、招待中学生の弁論大会と言う形で毎年行っています。一応参加の生徒が25~26名の予定です。皆さん発表される方はしっかりした考えを持っていて、聞いていても納得いく発言をされていますね。

青少年育成の一環として各警察署の道場を開放して、柔剣道の指導に警察官が当たる。

▶ 菊岡県警本部長

我々も只取り締まるだけではなく、健全育成にも力を入れております、今一生懸命やっておりますよ。各警察署の道場を青少年育成の為に開放しまして、少年柔道や少年剣道を警察官が無料で指導しており、練習を一段とやりやすくして育成の一助としております。

▶ 中村PR情報委員

今年で2回目になりますが、「タッチヤング千葉県少年柔剣道大会」を行っています。

21世紀の長寿社会に向けて、すでにその対応を始動！

▶ 平井ガバナー

新聞によると本部長自ら委員長となられて「高齢者の保護活動・高齢者の社会参加活動の推進」の対策の

柱を掲げ、県警が本格的な取組みへ始動と言う記事がありました……。

▶ 菊岡県警本部長

はい、その通りです。これから21世紀に向って長寿社会に確実になることから、国民の年齢構成が高齢化していくと、人口の15パーセント以上がお年寄りとなる訳ですね。

またここ2~3年社会的風潮と言いましょうか経済的な問題でも、新聞紙上を賑わせた例の「豊田商事の詐欺まがいの事件」等の被害を受けているのが老人達に多いこと。みんな老後の生活の為に貯めておいた大切なお金を騙し取られる「ペーパー商法」に会って、虎の子を無くしてしまう悲惨な結末となっていますが、取られてしまつたものが取り戻せない、こんな例が沢山出て来ています。

交通事故の被害に会われる率も、お年寄りの方が高いこと。それを守ると言うことで、警察としては犯罪や事故に会わないように積極的に年配の方を守って行こうと考えています。

逆にお年寄りの方は、今老人パワーと言われている「力と知恵」を出して頂いてボランティア的なこと、例えば交通安全とか非行防止とかに積極的に社会参加して頂いて、十分にその力を活かして頂こうと思っています。こうした両方の効果をねらって考えています。

今私が委員長になって、対策委員会を作つて考えていますが、各署挙げてこれからの長寿社会に対応していく方策を取り決め、進めて行きます。

老人の知恵袋とパワーを借りると同時に、積極的な社会参加活動の推進！

▶ 平井ガバナー

つまり長寿者保護活動と言う訳ですね。また、社会参加活動も含めての推進ですね。この二つの柱ですか。従来の保護活動は、しかるべき事を既に行われていますから、社会参加活動の推進ですね。



豊かさに質と心を

▶ 菊岡県警本部長

積極的に老人の方の力を借りて、次の世代の為にも知恵とパワーを發揮して頂くようにご協力を願う訳です。

▶ 平井ガバナー

私も老人ですからね。

(一同、ドーッと笑う)

特に本部長さんのお考えをお聞かせ下さい。また、私共ライオンズクラブとしましても、同時に考えてゆきたいと思いますのでお教え下さい。

交通事故防止は基本 を守ることである。 「飲むなら乗るな」…！

▶ 菊岡県警本部長

千葉県の場合、交通事故による死亡事故がまだまだ酒を飲んでの運転（飲酒運転）で事故を起こす例が非常に多く飲酒運転による死亡事故は全国ワースト1位ですね。これもまた残念なことですが、事故に会う歩行者の方でも、例えば酔って道に寝ているとか、千鳥足で歩いていて轢かれてしまうことが多いのです。社会的地位のある方でも、夜になると一杯飲んで、他に足がないのでついハンドルを握って運転してしまうことが多いですね。基本を守ってもらいたいですね。“飲んだら乗るな”ですよ。飲酒運転の防止について、積極的にキャンペーンを行ってはいますが……。

▶ 平井ガバナー

ライオンズの各役員もそれぞれの地域で、先頭にたって活動を一生懸命やっておられると思いますが、より広くキャンペーンの協力をいたしましょう。

▶ 菊岡県警本部長

去年の11月から一般道路に於いてもシートベルトの着用が義務づけられましたが、違反の場合は1点です。結果として成績は良いようです。それ以降毎日毎日の事故が減少して来てまして、人身事故が減っています。これからも是非着用を守って頂き、事故防止に協力をお願いします。

県民の平和な生活を 乱す無差別テロ・ゲリラ の根絶に、県警は最大級 の努力をしている。

▶ 菊岡県警本部長

最後に一番問題となっている「成田空港二期工事」に対する反対闘争についても、極左集団のテロ・ゲリラなど各種違法行為に対して、今これを根絶したいと県警挙げて全力投球しています。これは千葉県だけの問題では



なく、全国的な広範囲に目を向けて行かなければならぬ問題ですが、県内だけでも最近、国鉄本社の秘書課長宅が時限発火装置により全焼するという事件が起きました。去年一年で全国87件、県内39件の発生です。個人の住宅の放火や公共物である国鉄ケーブルの切断とか、飛翔弾等の飛び道具で攻撃するなど大変凶悪化しています。中でも成田空港で、こうした事件があったとしたら大変な事故となり、国際的問題となります。

このように、犯行に使用する凶器が技術的に高度なものとなり、攻撃対象を無差別、無制限にエスカレートさせて、一般市民まで巻き添えにしかねない凶悪な「極左ゲリラ」を許すこととは、民主主義社会の崩壊となり、国民生活の安全を脅かす重大な治安問題です。

警察としては、このような卑劣なテロ・ゲリラ犯人を一刻も早く捕まえ、事件の断固根絶を図るために、県警本部に「極左暴力取締本部」を設置して、いろいろな対策



豊かさに質と心を

を強い決意のもとに鋭意推進中です。

千葉県内には、成田空港をはじめとして「極左ゲリラ」の攻撃対象になるおそれのある重要防護対象が大変多くあり、機動隊や空港警備隊などで守っておりますが、こうしたゲリラ事件をひき起す極左暴力集団の地下に潜っている非公然の軍事組織をあぶり出し、武器製造の秘密アシトや改造工場を摘発・検挙してゲリラをやらせないための追及捜査、情報収集体制を強化し、表と裏の両面から極左暴力集団を壊滅させようということで頑張っている次第です。

また、ゲリラ組織に絶対に武器になる材料を与えない、武器を作る場所を与えない、さらに武器を運搬する車を盗ませないという「ゲリラ壊滅3無い運動」を展開しております。

すなわち、「飛び道具」の材料になる鋼管・鋼材・火薬・塩素酸塩農薬などの流出を防止して武器製造の原材料を入手させないこと、つぎにこうした武器の製造や車の改造等をやる地下工場となる場所を与えないこと、さらにゲリラに使用される車はすべて盜難車輌でありますので、車の保管・管理をしっかりと頂いて車を盗ませないことなどにつきまして、是非ご協力を願いしたいのであります。

成田空港問題にまつわる 彼等の行動を根絶するには 一般市民の深いご理解と ご協力を願わなければなり ません。

▶ 菊岡県警本部長

「極左ゲリラ」を壊滅させるためには、警察の強力な取締りや捜査に国民の皆様の絶大なご理解、ご協力を頂くことが必要です。

ことに千葉県のように都市化が進展し、人口が急激に増加しているところでは、どうしても昔からの地縁、血縁といった地域社会のつながりが薄くなりまして、まさに「隣りはなにをする人ぞ」ということで、隣り近所も

お互が全く無関心という生活になり、極左暴力集団のゲリラ組織が非公然地下活動をするのに絶好の場となっている訳です。

こうした困難な条件を打ち破るため、国民の皆様から、彼等の潜んでいる所や地下の武器工場などにつながるような不審な情報をひとつでもお寄せ頂くことを心からお願いする次第です。

▶ 平井ガバナー

連帯感による情報提供ですね。

▶ 菊岡県警本部長

このため県警の極左暴力取締本部に「極左110番」ということで受信専用の電話「0472-21-0110」番を設置しておりますので、よろしくお願いします。県警も皆さんが平和な生活を続けられますように、真剣に正面から取り組んでおります。平和は皆さんの中ですから、ご協力を願い致します。

▶ 平井ガバナー

県警の大変なお仕事ぶりがよく解りまして、大変有益でございました。ご多忙のところ有り難うございました。

極左暴力集団の
情報提供は
千葉（21）0110へ

対談者 千葉県警察本部長
菊岡 平八郎
333-C地区ガバナー
L. 平井 勇
ところ 千葉県警察本部長室にて
11月12日
午後1時30分より
出席者 千葉県警察本部総務課長
山形 博
PR情報委員長
L. 高尾 競一
3RPR情報委員
L. 中村 新一郎
地区ニュース編集委員
L. 青木 芳政



豊かさに質と心を

袖ヶ浦ネスクラブ 木更津金鈴ネスクラブ

座談会

▶ 高尾 P R 情報委員長

早速ですが、金鈴さんのクラブはいつ頃の結成ですか。

▶ 伊藤金鈴副会長

6年目になりました、クラブ員が24名。

月額会費3,000円でやっております。

▶ 高尾 P R 情報委員長

24名の内訳ですが、ライオンレディがほとんどですか？

▶ 伊藤金鈴副会長

全員がライオンレディです。

▶ 高尾 P R 情報委員長

袖ヶ浦の会長さんにも同じ質問ですがお願いします。

▶ 浅井袖ヶ浦会長

7年ですか今年で。クラブ員が17名で毎月2,000円の会費です。そうですね、うちの場合は半数以下、1/3がライオンレディですね。

▶ 高尾 P R 情報委員長

君津さんも、君津中央さんもそれぞれメンバーの内容が違いますね。1/3がライオンレディで、ご主人がロータリアン、奥さんがライオネットクラブに入っているような形が多く、なかなか面白いですね。

まあ少しリラックスして、いろんなことをお聞かせ下さい。ご主人がライオンで奥さんもライオネットクラブで、何か合同のA C Tをするような時に、ご家庭の中で何か抵抗はありませんか。

▶ 浅井袖ヶ浦会長

小さいお子さんのいらっしゃる方はともかく、あとは全く抵抗がないようですね。

▶ 高尾 P R 情報委員長

幹事さん、今年度の事業計画の中で、今までおやりになったA C Tの内容はどうでしょうか。

▶ 木崎袖ヶ浦幹事

8月3日ライオンズと一緒に青少年のクルージング大会がありまして、これのお手伝いをしました。8月15日はお祭りがありまして、その時の献血のお手伝いですね。9月9日に「さつき園」と言う老人ホームに（毛糸による手編みの）襟巻きをプレゼントしました。例会を1週間早めてその間に手編みの講習を行い、家へ各自が持ち帰って編んでいただきました。9月の敬老の日の前にプレゼントに行って参りました。そこには50人いらっしゃるのでそのつもりでしたが、数量が少しオーバーしたので11月18日、「あけぼの園」と言う福祉作業所があるのでそこへも少し足してプレゼントいたしました。そうした折にいつもカレーを作って持って行き、メンバーと一緒に食事をしたり歌を歌ったりして、皆さんを励ましてくるのです。今年もまた襟巻きをプレゼントしようかなあと考えています。

11月9日にはライオンと一緒に青少年育成事業として、地元の子供会児童を50名招待してカレーの食事をしたり、ハイキングをして遊ばせたりしたのです。ライオンの子



豊かさに質と心を



座談会出演者

- ・木更津金鈴ライオネスクラブ（24名）
副会長・伊藤 千枝子
幹事・鬼頭君江
会計・池田 征通子
連絡員・L. 鶴田光雄
- ・袖ヶ浦ライオネスクラブ（17名）
会長・浅井時子
幹事・木崎尚子
会計・久島豊子
連絡員・L. 浅井喜作
- ・PR情報委員長・L. 高尾競一
(房州白浜LC)
- ・5RPR情報委員・L. 伊藤正章(木更津LC)
- ・地区ニュース編集委員・L. 青木芳政
(館山中央LC)
- ・会場・木更津パークホテル

10月27日 P.M. 7:00~8:00

供も一緒になって、他の子供会もいろいろ交替で面倒を見ています。

▶ 高尾PR情報委員長

年間を通してのACTの中で、継続されている活動は？

▶ 木崎袖ヶ浦幹事

さつき園とあけぼの園にプレゼントと慰問をすることですか。市の方へのボランティアとしてのお手伝いもありますが、これは不定で、指示を受けてから協力すると言うことですから、でも年間かなりの回数ですね。きのうも木更津で老人の手作りの会がありまして、そこでも接待役としてお茶のお手伝いをして来ました。これはボランティア協議会と言う名称です。

▶ 高尾PR情報委員長

ご婦人の場合は、婦人会やボランティア協力などいろいろありますでしょうからね。この種の活動はご主人よりも遙かに活動時間は多いでしょうね。ライオンズクラブの規約の中には、スポンスはライオンズクラブだし、その育成と管理もライオンズクラブがすることになっておりますが、独自のACTをすることもやはりお考えになっていたらしくことが、仲間の友情を芽生えさせるいい方法かも知れませんからね。

館山さんの場合は、お茶やお華、紙人形作りなどいろいろなサークル活動があって、その道のオーソリティが幸いにもメンバーの中におり、お互に教え合って仲間づくりや友情を深めるのにとても役立っているようです。

▶ 浅井袖ヶ浦会長

なかなかそう言う人がいないですよ。無料で教えてくれる人がね。まあ、手編み毛糸などやりましたがね。こういうことはやっている時は楽しいですからね。

▶ 木崎袖ヶ浦幹事

7月7・8日は献血のお手伝いで、9日はまちの老人スポーツ大会でのお手伝い。28日から3週間位ですが、日赤法人の家へ集金に出掛けました。その他毎月第3水曜日に、50人位いる独居老人への給食サービスをしたり、親クラブと一緒に森の清掃作業などをやりました。

▶ 高尾PR情報委員長

継続ACTはどのように？

▶ 浅井袖ヶ浦会長

独居老人の給食サービスと日赤法人の集金作業の奉仕、あとは共同募金活動です。給食は200食で、朝8時半頃から集って皆さんと一緒に食べるのです。

▶ 高尾PR情報委員長

これはすごい！

▶ 浅井袖ヶ浦会長

他のボランティアの人達も来て協力して下さっております。まだ月に1回ですかいいのですが、他では（茂原さん）毎週のようですから大変ですね。

▶ 高尾PR情報委員長

こういうことは一般社会の人達には知られていないし、またそれだけの評価をしていただいているのですね。



豊かさに質と心を

袖ヶ浦ライオネスクラブ

献血手伝い 赤十字募金手伝い 草刈作業の アクティビティー！



▲ 献血のお手伝い

日本人は得てして、「黙して語らず」と言うところがありますから、残念ですが。今期から地区ニュースも姿と内容を一新して、皆さんに広く理解を求める意味もあって、公表するために役所や病院など一般の方の目に触れやすい所に置き、見てもらうように取り計っている訳です。

ライオンズクラブの場合は、ACTをすることがごく当たり前であっても、ライオネス達は家庭もクラブ活動も裏方に徹していて陽の目を見ることが少ない故に、私共としてはせめて地区ニュース誌上を通じて、ネスの実態を広く一般に知ってもらうようにした訳です。

▶ 高尾PR情報委員長

本日はスケジュールの関係上、夜分の集まりになってしまい、ご多用の中大変恐縮に存じますが、先ず袖ヶ浦ネスクラブの会計さんにお伺いいたしますが、月2,000円の会費ですね。基本的な社会奉仕活動の資金源についてはライオンズクラブ規約がありますが、袖ヶ浦ネスクラブとしては資金獲得の為にどんな方法で、又何かおやりになっているのですか。

▶ 久島袖ヶ浦会計

産業祭とダンスパーティがあり、また電話帳の広告取りによる収入の三つです。これは、親クラブと一緒にネスクラブにも協力していただいて広告を取ってくる仕事をして、その中からいくらかの金額をいただく方法です。

▶ 浅井連絡員

親クラブが独自の電話帳を作成し、その中に「まち」の広告を入れ、出来上がった電話帳は自分達のまちへ還元の意味もあって、そのままそっくり寄贈して使っていただいている。

▶ 高尾PR情報委員長

産業祭はどんな様子ですか。

▶ 浅井連絡員

「まち」が主催する形です。役所の経済課に申し込みがあり、いらなくなつた洋服や品物、手作りのものなどを持ち寄って、バザーを開きます。その場で「摸擬店」風に、焼きそばなど食べものを作つて売り、その水上げからの利益金を資金としています。

▶ 高尾PR情報委員長

一年間で総体資金額はどの位でしょうか。

▶ 久島袖ヶ浦会計

ほとんどが社会福祉の方へ寄付しています。そんなに贅沢が出来るような資金にはなりませんがね。どうにか運営して行ける程の金額です。

▶ 高尾PR情報委員長

バザーは親クラブと合同でおやりになるのですか。

▶ 浅井袖ヶ浦会長

親クラブのお手伝いとして参加いたします。産業祭の会場には、いろいろな物などをいろいろと協力をしていただきましたよ。



豊かさに質と心を



▲ 日本赤十字募金のお手伝い



▲ ライオンズティーの草刈

▶ 高尾 P R 情報委員長

その他の方法として「集金の手数料収入」とか何かございますか。

▶ 浅井袖ヶ浦会長

いや、そう言うことはありません。お互に協力し合って行っておりますから。

▶ 高尾 P R 情報委員長

木更津金鈴ネスクラブの場合は、1ヶ月3,000円会費となっておりますが、事業をする場合の事業資金は、資金獲得の為の事業を何かいろいろ指導していると思いますが、その点については、ボランティアする為の何か特別な事業資金獲得の方法はございますか。

▶ 池田木更津金鈴会計

幸い親クラブから年に50万円を事業資金としていただきました。その中から「さつき園」や福祉施設などに奉仕する場合、自分達で品物を持ち寄ってオークションを行い、その収益金を基にして「毛糸」や「お花」を買って寄贈しております。

お手伝いをしている時は、親クラブからは一切いただきません。然し年間を通して50万円を資金としていただいています。昨年までは40万円でしたが、大巾アップをしてもらいまして大台になったわけです。

▶ 高尾 P R 情報委員長

会則の中には、一応ボランティア活動や社会奉仕をする場合の基本的な計画事業によって、財政措置をしなけ

ればならないとなっています。親クラブからの資金援助だけではなく、ネスクラブの皆さんの知恵を以て独自の事業計画に基づいた資金獲得を行うことが、何よりもクラブの結束と融和をなしうることだと思います。

▶ 伊藤木更津金鈴会長

親クラブの方に何かありましたら、私共はすべて協力をしておりますから。

▶ 高尾 P R 情報委員長

その姿が本来あるべき形ですよ。それはそれとしてすばらしいことですよ。

▶ 伊藤木更津金鈴会長

クラブ員とそのようなことを相談しまして、今後共考えてゆきたいと心得ております。

▶ 高尾 P R 情報委員長

ライオンズメンバーの多いクラブは充分に活動を行う余力や力があるわけですが、少ない20人位のクラブは、自クラブの運営すらおぼつかない状況です。ましてネスクラブ活動への支援など考えられない程の予算で運営しなければ、各個人の負担が大きくなってしまう事態となってしまうのです。

▶ 鴨田木更津金鈴連絡員

親クラブの方々が郵便局扱いの「簡易保険」の掛金集金による手数料を積立て、その一部をネスクラブの方へ事業資金として回してもらうわけです。この保険も皆さんの賛同を得ないと入れないです。



Bring Quality To Life

豊かさに質と心を

木更津金鈴ライオネスクラブ

身障児施設

「あけぼの園」に 慰問す。



▶ 伊藤木更津金鈴会長

ネスクラブの方も他の保険に入らずに簡易保険の方に入つてもらうように協力をして頂き、資金源の方を少しでもよけいにもらえるようにしております。

▶ 高尾PR情報委員長

地域の違うクラブの方へお話しをしますと、「ああ、私の方もやればよかったわ」とか「うちのクラブも真似しようかしら」とか、また「親クラブと相談してみるわ」など、善後策を話し合ってやってゆくことですかね。

このような知恵を皆さんにお知らせ出来ることだけでも、この度の企画は成功ではないかなと言う気がいたします。知恵をしぼった上での活動はなかなか意義深いものがありまして、話し合う度に気心が知れ、会話もはずみ、物事がスムーズに進む。延いては友達づき合いも自然に出来るようになつたりして、益々人の和と輪が図られて、努力の効もあろうかと思います。お嫁に行って知らない土地での生活は隣り近所で他の人とは出会えないよりは、ネスクラブに入っているだけで心強く幸せに思われます。やはり幸せは他の人にも分けたいのですね。親クラブに対する注文とか、要望などはどうですか。

▶ 伊藤木更津金鈴会長

皆さんから何から今までしていただいておりますので、何もありません。

▶ 高尾PR情報委員長

君津ネスクラブの場合はメンバーの奥さんが少なく、

ロータリーの奥さんやその他の方が入っているのです。会員の勧誘に行っても「うちのババーなんかに言ってもしょうがないよ」と言っているのです。しかも時にはライオン自身から話が出てくるしまつでね。こんな様子なので、お誘いに行ってもお話の仕方がむずかしくてね。出来るだけスムーズにお話が出来るように「話の場をつくって欲しい」と奥さん方が言っておりましたよ。

今後、袖ヶ浦ネスクラブの方は増員の計画はどうですか。

▶ 浅井袖ヶ浦会長

ありますよ。でもなかなかね「女の団体」はいろいろありますね。人間関係がものすごくむずかしく、誘つても女人は心が狭いのでね。

▶ 高尾PR情報委員長

月に1回それだけのことをおやりになっているのですから、大変なお仕事だと思うのですよ。

▶ 浅井袖ヶ浦会長

奉仕と遊びだけなら入りたいのでしょうが、会の役を仰せつかることが大変な負担らしくてね。“何々の報告”と皆さんの前でのものを言うことがおっくうになってしまふのでしょうかね。役がなければ入りたいと言う方もいますけれども。

▶ 高尾PR情報委員長

正直いって私も自分の親から先生になれと言われて、新制中学校の先生になった時、子供達の目がとても怖く



豊かさに質と心を



一座談会 —スナップ編—



てね。45分間（1時間授業）を前もって下調べして授業に臨んだのですが、実際は3分間位でしゃべり終ってしまって、採に一気呵成でした。翌日生徒に聞いてみたら「何にもわからない」と言う始末でした。思惑だけで、現実的にはそんなに話す機会がありませんからね。

▶ 浅井袖ヶ浦会長

何度も機会があれば、それなりに慣れて行くのでしょうか、年に1回か2回位がものすごく大変に思われるのですね。ひざを交えて話し合う位なら何でもないのでしょうが、公の場となるといろいろ考えてしまうのでね。

▶ 高尾P R情報委員長

同じ目標を持っている皆さんのお集まりでしょうから、やはりその土地の式でおやりになることが正しいのではないでしょうか。ですからもっとおおらかな心構えで、こだわらず進めてゆくことが肝要かと思います。親切の輪と友達の和を広げていただけるように努めることで、仲間をお誘いしてゆけばいいのでしょうか。

ご家庭でも家事一般から育児のことまで、その外にこうしたネスクラブの活動に参加され、また親クラブの後援を含めてのご活動は、体をいくつにも使い分けて、非常にご苦労が多いこと思います。今日皆さんからお聞きいたしましたことをよく理解して、今後の参考にされたら幸いかと存じます。

今後共、皆様の一層のご活躍をお願いしまして終わります。



Bring Quality To Life

尊かさに質と心を

おめでとう 浦安シーサイドライオンズクラブ 認証状伝達式



初代会長
L. 北村 守昭
(浦安ライオンズクラブ)



「チャーターナイトを終えての感想を…」と求められて、「プラザークラブの友愛の精神に深く感激しています。」というのは、何の誇張もない事実ではあるけれども、それだけでも複雑な気持を抱いていることも、また事実です。

一口で言って準備が大袈裟になり過ぎる、ということです。我々はそれぞれの職業を持っているのであり、職業基盤が確立してこそ、クラブ生活も社会奉仕活動も可能です。自分の仕事に忙殺されている時に、CN大会は委員長と会長に余りにも大きな負担をかけるものであった、というのがCNを終えての実感です。

また我々のような新クラブの設立が祝われている反面、他方では会員の退会どころかクラブの消滅という情報すら伝えられています。我々はライオンズにおいて、自分に対する直接の利益は無いということは理解の上で、自由意志で入会しています。しかしライオンズに投するエネルギー量（具体的には時間と金銭）に見合うだけの「充実感」を得られるならば長続きするし、その反対になれば失望するのは当然の成り行きと申せます。

ライオンズが成長するためには、無用の負担を減らすため、諸行事の思い切った簡素化が必要だと思います。役員の方々は皆それなりに充分な余裕をお持ちのようにお見受けしますが、その方が率先して簡素化を主導して下さるならば、合理化の実効は挙がると考えています。



Bring Quality To Life

豊かさに質と心を

ACT報告

山田ライオンズクラブ

10月7日 国際ライオンズデー奉仕



▲ 山田中学校緑の少年団と共に植樹



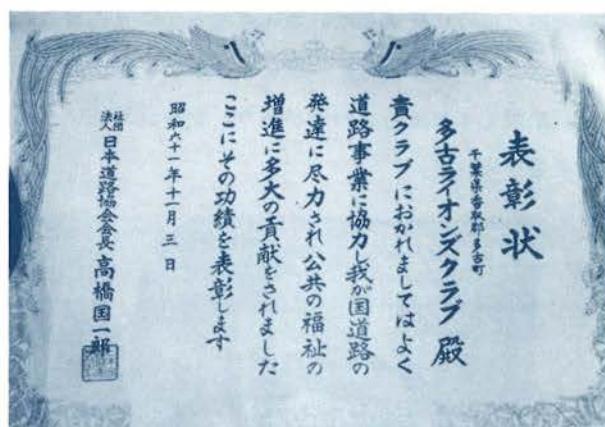
▲ 山田中学校用地へあじさい・さつきの植樹奉仕

多古ライオンズクラブ

花壇美化活動に表彰



当クラブは11月3日、国道296号線沿いの花壇手入に対するボランティア活動が社団法人 日本道路協会に認められて、この度表彰を受けました。



總武中央ライオンズクラブ

ゲートボール大会開催





Bring Quality To Life

豊かさに質と心を

11月に、横芝中学校を会場として、第10回5地区対抗ゲートボール大会を行った。当日は5町村より10チームの参加があり、トーナメント方式により上位3チームにメダルを授与、参加者70名であった。

クラブ員20名の参加奉仕。午前8時に集合し、9時に試合開始、12時に終了した。老人にとっては実に楽しい一日となって、健康増進に一役と言ったところ。逆にクラブ員に対してねぎらいの声があり、全員満足感いっぱいであつた。



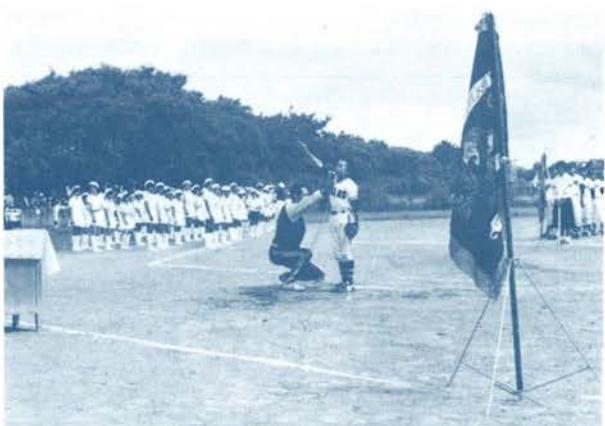
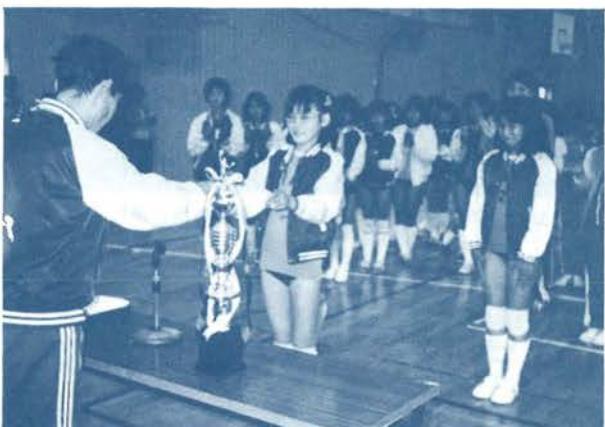
館山ライオンズクラブ

ミニバスケットボール 交歓大会の開催

館山ライオンズクラブ主催、第4回館山市ミニバスケットボール交歓大会が12月7日、館山市那古小学校体育館に於いて、男女約180人の参加を得て行われました。この大会は、当館山ライオンズクラブが毎年の行事として行っているものです。

日頃から熱心な指導者の下で、心身共に鍛えられた少年少女、さすがに見事なプレーの連発で、場内を沸かしていました。尚優勝は男子が富崎小クラブ、女子は那古バスケットボールクラブでした。

この他、小学生バレーボール大会を主催し、夏には安房郡市少年野球大会と館山市スポーツ少年団剣道大会を後援。年4回の大きなイベントへの協力奉仕として主催・後援し、青少年の健全育成にクラブ員一同頑張っております。





豊かさに質と心を



第6回南房総青少年剣道大会行う

房総勝浦ライオンズクラブ

毎年我がライオンズクラブ主催の「南房総青少年剣道大会」を2ヶ月も前から準備を進めて、昨年12月7日に第6回を日本武道館・勝浦研修センターに於いて開催いたしました。

小学生の部・15校、中学生の部・18校、高校生の部・14校総勢282名の参加者に、来賓者として前国務大臣の森美秀先生を始め、県議の小高芳男先生、勝浦市長山口吉暉様外多数の方々をお迎えして盛大に行われました。会員や関係者の皆様のお蔭と感謝しております。

選手代表の力強い宣誓の後、試合は勝抜き対抗総当り戦により試合開始。会場は約500名もの観衆の中で白熱戦を繰りひろげ、元気のよい掛け声が館内に響きわたり、好試合を続けました。

熱戦の結果、小学生の部優勝・茂原武道館（茂原市）、準優勝・興津興武館（勝浦市）、3位日本武道館A（勝浦市）、日本武道館C（勝浦市）

中学生の部優勝・勝浦中（勝浦市）、準優勝・鋸南二中（鋸南町）、3位・一宮中（一宮町）、館山一中（館山市）

高校生の部優勝・明徳高校（千葉市）、準優勝・安房高校（館山市）、3位・勝浦高校（勝浦市）、長狹高校（鴨川市）。以上の各チームの健闘を讃え、優勝旗及びメダルと賞状を授与し、表彰式を終えた。



豊かさに質と心を

ACT 報告 -



12月19日、県立東金養護学校へのクリスマス慰問を行う。

このACTは例年行っているもので、学校のクリスマス行事に合せて今年は19日に行ったが、毎年の事ながら生徒達の喜びようは大変なもので、自分達の「手作りの木ぼり人形」をくれ、帰りには握手をしながらはなれようとせず、「又来てね。」と言われた時には目頭があつくなかった。

この子等の将来を思う時“いい子でがんばってね！”と心からはげまさざるを得ない心境になった。

来年も必ず行こう！

7 R 2 Z幹事

L. 増田三雄
(東金ライオンズクラブ)

私の想い出

私は1979年5月12日、東金LCをスポンサークラブとして、九十九里LC結成と共にチャーターメンバーとして入会し、最初は何が何だか解らない内に1年間過ごしました。其の間退会しようと考えた事が度々有りましたが、我慢して居る内に色々とクラブの行事に魅力を感じて、クラブ活動や周年行事、又チャーターナイト等に参加するに連れ、私は考えました。何とか後の世に振り返って見た時、過去を想い起こさせる物が有ればと思い付いたのが、記念のバナー・バッヂでした。其れより後は迷いよりも、反対にライオンズ会員で有る事を楽しみ、又誇りを持つ様に変って参り、北は北海道、南は沖縄やシンガポールと行き、東南アジアフォーラムにはクラブ発足8年目にして5回出席、其の他各地の行事に出席したのが85回です。又クラブの役はクラブ会計・幹事やZ幹事を2回して参り、其の間クラブ同志の姉妹提携でもと思い、私自身で長野県箕輪LCとの提携関係を結ぶ段取りを致しました。現在交互にクラブ同志の交流を深めて居ります。

私は現在は楽しみが一杯です。今後益々ライオニズムの向上に尽くして行く所存です。

7 R 2 Z幹事

L. 斎藤定行
(九十九里ライオンズクラブ)





Bring Quality To Life

豊かさに質と心を

新たなる挑戦!!

糖尿病防止キャンペーン

薬害教育福祉環境保全委員長

L. 渡辺栄二

(鋸南ライオンズクラブ)

糖尿病は重大な健康問題を生じており、先進国に於いては盲目的主な原因となっています。世界で約2億人が糖尿病にかかっていると推察されています（ニューヨーク・タイムズ誌、1981年2月号）。更に注目すべき点は、毎年約6%の割で糖尿病患者の数が増加しており、その内80%は予防可能であったはずと言う事です。

このような恐るべき報告があることを痛感して、国際協会はこの防止作戦の為のアクティビティを起こし、糖尿病防止及び撲滅に向ってプログラムし、その推進を図るべく国際会長の名に於いて指示要請を受けています。

「糖尿病とは？」

糖尿病はコントロール出来ますが、完治する事はできない病気です。この病気は、身体の消化機能に影響を及ぼします。正常な消化過程では砂糖・でん粉・その他の食物が、グルコースと呼ばれる糖分に変えられます。このグルコースが血液によって体内の各細胞に運ばれ、そこでインシュリン（すい臓から分泌されるホルモン）の作用を得て熱量に変えられるか、又は後で熱量に変えられるべく貯蔵されます。しかし糖尿病がある場合には、この作用が正常に行われません。

糖尿病は体内でインシュリンが充分に生産されないか、又は分泌されたインシュリンがその機能を果たさないために起こります。その結果、血液の中にグルコースが蓄積し、過剰の糖分が腎臓を通って尿と共に排除されます。過剰の糖分が尿や血液にたまる事が、糖尿病の典型的な症状です。血液内の糖分が多い事が原因で、糖尿病患者の間で視力障害や腎臓障害が起こりやすいと考えられています。

「糖尿病の種類」

タイプI—インシュリン依存（以前は小児糖尿病と呼ばれた）。これは最も重症のタイプとされています。しかし糖尿病患者のうち、たった10%がこのタイプに属するといわれます。普通、児童や若い成人の間で急に発病し、急速に進行しますが、それ以外の年代層で起こる事もあります。タイプI（インシュリン依存）の患者のすい臓では、インシュリン生産がまず不可能なので、毎日インシュリンの注射を打たなければ生存できないのです。インシュリンが発見された1921年以前には、このタイプの糖尿病患者は発病後2~3年しか生き伸びる事はできませんでした。

タイプII—インシュリン無用（以前は成人糖尿病と呼ばれた）。普通、40歳以上の人がかかります。このタイプの糖尿病が多く、糖尿病患者の90%がこのタイプに属します。発病は急激ではなく、症状も余りひどくありません。何年間も発見されない事が多くあります。このタイプの患者のすい臓では、インシュリンが多少生産されていますが充分ではなく、能率的に機能を果たしていません。この場合、食餌療法と運動でその症状をコントロールする事は比較的安易に出来きますし、遺伝的に糖尿病になりやすい人も、その予防に努める事ができます。

インシュリンを必要としない糖尿病患者と肥満性とに、関連があると考えられています。これらの患者の80%は、発病当時の体重が多すぎたといわれています。多くの専門家によると、これらの人々が常に好ましい体重を維持し、全般的に身体を鍛えておいたなら、多分糖尿病を防ぐことが出来ただろうにと言うことです。タイプIIの糖尿病にかかる率は、体重が理想量を20%超過する



豊かさに質と心を

毎に2倍に増えます。

タイプIIの糖尿病は、本人の生活態度によって大きく影響されるといえます。不活発で肥満型の40歳以上の人々が糖尿病にかかる可能性は、大変大きいと記されています。そして年をとる毎に、又体重が増える毎にその危険性は強化されるのです。

「糖尿病の警告」

- | | |
|---------------|---------------|
| (A) • ひんぱんな排尿 | (B) • 眠気 |
| • 異常な喉の渴き | • かゆみ |
| • 異常な空腹感 | • 家族に糖尿病患者がいる |

- | | |
|-----------|---------------|
| • 体重の急減 | • 目がかすむ |
| • いら立ち | • 肥満 |
| • 極度の疲労感 | • 足がしびれる |
| • 吐き気及び嘔吐 | • 疲れやすい |
| | • 皮膚の炎症が治りにくい |

(A)の症状は突然現われます。直ちに医者の診断を受けるべきです。生死の問題にもなり兼ねません。

(B)のような徵候は糖尿病の危険信号です。すぐ医者の診断を受ける事が大切です。

● 東南アジアフォーラムと

韓国雑感

東庄ライオンズクラブ

L. 石毛文行

L. 林 寛躬

L. 高木源三郎

L. 石橋長男

○ アジアフォーラムの意義

(あいさつの中から) 平和と協調

昨年の11月、シンガポールで“国際的理諭を通じての平和”と言うテーマの下に、第24回フォーラムを終えてから1年が過ぎた。その際、最も近い所としては約600キロの日本、遠くはブルネイ5,000キロ、さらに遠い所としてはスウェーデン出身のアケスタム会長が15,000キロも離れた距離からおいでになっていること。そして異なる民族と国家に属している10ヶ国余りのライオン達が、歴史と伝統的文化、そして生活様式と言語の違いにも拘らず、崇高な奉仕の精神に則り、平和と協調のテーマの下に、再びソウルに集りになったことを歓迎するとの言葉を受けた。

○ 韓国について（近くで遠い国）

日本と韓国は1,000年を超す間、同じ中国文化圏の中で育って来た。その長い時の流れの中で、韓国は先進の中国の文化を日本に伝承した。しかし日本は最近まで、

韓国を植民地として統治した史実を覚えている。この双方の経緯の中での経験が一種の優越感を伴い、両国共に、相手国を良く理解していると言う先入観をほぼ共通して持っていると思われる。

今日でも日韓の関係は、経済・文化のあらゆる面で同一線上に存在しているにも拘らず、近くで遠い国との実感を様々なところで見聞きする。例えば国民性について、その一部をなす姓すなわち苗字に関して言えば日本と違い韓国では、結婚してもそれを替えると言うことは絶対に有りえないことである。もしそんなことが起こると、命をとられる如く思ってしまう。いかに婚家のとなり、実家と絶縁状態になる事があったとしても、元来の姓を替えることはないのである。

○ 現代社会世相

韓国は、日本に追いつき追い越せをモットーに経済発展を推進させ、技術導入によってエレクトロニクスや先端技術を取り入れた車輌生産など、コストの差を利用し



豊かさに質と心を

てアメリカやヨーロッパへの輸出を年々増大している現情である。先般行われたアジアオリンピック大会の成績にも、その意気込みの一端が現われていた。

4,150万人の半分は北鮮からの難民。緑少なく岩肌むき出しの山々。季用澤氏の奥さんが日本の印象について、「山に樹木が多く、緑が多いこと」と言わされた。

韓国の政治に少しばかり触れると、時の権力者 朴大統領曰く、「時期を待っていたら何ひとつとして出来るものではない。ただ前進あるのみ」と。その意思によつて、反対を押し切って高速道路の建設を敢行。交通・経済・文化の発展に役立て、その効果は産業の発展のみならず、文化と流通の均等化にも多大な影響を及ぼした。

今から16年前のことである。

まだまだ不透明な部分があるが、独裁的指導下のにおいが強すぎて、民主化への道は遠いもののように思われてならない。日本人学校を訪問して、校長先生から経営の苦心を聞いてみたら、PTA対策や外務省・文部省のお役人の訪問の接待やら職員の内部対立、意識のズレなど実際にストレスのたまる要因が山もりであると言う。

然しながら、底流にある韓国人の一人一人の心情は、表面上の現象だけでとらえてはならない。ふれ合う毎に滲み出てくる厚い人情があることを忘れてはならないでしょう。

|わ|が|ク|ラ|ブ|の|紹|介|

4 R 2 Z 山田町ライオンズクラブ

山田町は千葉県の北東部、成田と銚子の中間に位置し、面積51km²、人口12,600名の農業を中心とした緑と花の豊かな町であります。

当クラブは干潟LCのスポンサーにより、日本では2319の登録番号を持ち、県内63番目に1979年3月27日37名で誕生しました。そして、スポンサークラブの穴沢光しをガイディングランナーとして、同年10月14日認証状伝達式が行われ、以来8年目という若いクラブであります。

歴代会長は先輩ライオンのご指導のもと、一步一步地域に密着した堅実な運営を念願し、努力して参りました。今までの歩みの中から、特長のある点をとりあげて紹介に代えさせていただきます。

第1点はスローガンです。

会員相互の和「家族そろって、ライオンズ活動に参加協力する」ということです。

結婚20周年以上のメンバーを祝福して贈呈された「愛と知性と奉仕の結婚○○年記念」の楯に象徴されますように、夫婦一体の活動をめざしております。

特に婦人部の活躍は目覚ましく、敬老ACTの中心的役割を担当するほか、特別例会や各種行事、年次大会へ



の参加、リジョン内・ゾーン内の親善行事には必ず参加する等、婦人部役員を中心に一致協力して、楽しく且盛大な会合の盛り上げに努力してくれています。

第2点の特徴は、事業面です。

緑化推進事業の強力な継続的実践が挙げられます。これは故村上薰しが国際会長に就任され、植樹を提唱されて以来の継続事業で、当初5ヶ月計画で、町の中心にある「農村運動広場<山田中学校用地を含む>」に毎年約30万円の予算で桜・つつじ・あじさいを植樹し、既に3千本近くになっており、6年目以降も継続して、花と緑

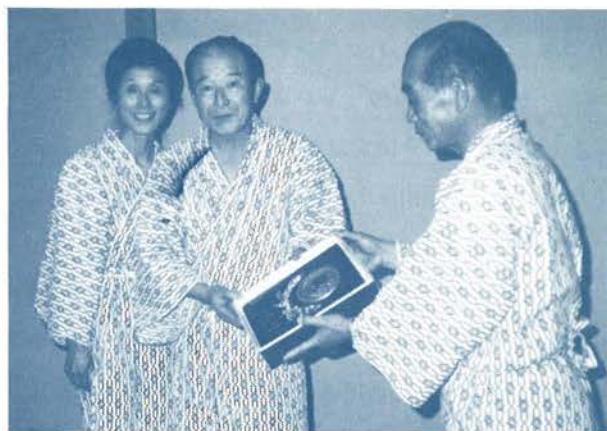


Bring Quality To Life

豊かさに質と心を



▲ 小野寺君と越川L、小憩



▲ 結婚20周年以上のメンバーへの記念品贈呈

の町民憩いの広場作りに努力しております。この維持管理は、会員の労力ACTを伴う最大事業であります。

尚この事業に関連して、「緑の少年団」小学校1団と中学校1団（夫々団員50名）を結成し、助成をしております。目的を、「この団は緑に親しみ、緑を愛し、これを育てつつ健全な心身を養い、互に力を合わせて社会に役立つ自主的活動をすること」と定め、ライオンズクラブ・学校・町が一体となって育成し、活発な活動をしておるものであります。

第3点としては、国際協調面が挙げられます。

1. L C I F 基金の献金は、会員全員が10\$, 有志は10\$を毎年協力しています。
2. 海外文化交流への努力、特にブラジル2・3世との交流を深めてきました。

1984~86年に亘り町内保育園・小中学校・会員の協力により、園児・児童生徒の習字・図画・作文及び会員の絵画・書作品・地域並びに学校紹介写真・パンフレット・児童図書・カレンダー等を広く募り、日伯文化連盟・ブラジル千葉県人会の賛同協力のもとに、同国日本人学校の教材の一助と致しました。

この事に関連して、日伯文化協会ではサンパウロ市で在伯日本人児童展覧会の折、一室を日本人コーナーとして特設し、私共の贈呈した作品を展示公開。その時の写真と、日本人学校在学2・3世児童生徒の手紙や感謝の作文を寄せて参りました。これは町内関係校に回覧し、新たな感興を呼んでおります。

3. ブラジル二世 小野寺素之君（自費留学生、ブラジ

ル国大<5年生卒>27歳）との交流（1984~86）

現栗原LC会長八代重信Lのご援助とご指導により、小野寺君が当クラブ越川忍Lのもとで研修生活に入って以来、県立職業訓練学校で造園科を卒業、帰国するまでの交流であります。

小野寺君はブラジルの国立農業大学（5年制）を卒業し、ジャーデマ市役所公園課に勤務していましたが、より高度な造園技術を求めて同市役所を退職、自費留学生として来日し、2年間の内1年間を、越川Lのもとにて実技と日本語の研修をし、第2年次は芝山の県立職業訓練校に於いて専門家としての理論と技能を修得し、在学生の中で特別賞つきの優秀な成績で卒業し、昨年3月無事帰国致した次第であります。

この間、身元引受人の越川Lの厚情はもとより、当クラブに於いても数度に亘り例会に招き、或いはクリスマス例会、中学生及び父母との懇話会、町長訪問、日伯文化交流時の図書選定、贈呈品の発送手伝い、卒業祝いの激励会等交誼を深めてまいりました。

当初たどたどしく、名前をやっと語るだけの自己紹介をした彼も、激励会では数分間の専門用語を交えてスピーチの中で感謝のことばが湧出し、向学心に加えて努力の成果を以て学びのあとを示してくれました。

最近、「厳しい国情ながら、日本で学習したことを基盤に、生きていく目途が立ったのでご安心下さい。クラブの皆さんに宣教く」とのお便りがありました。

改めて関係各位に感謝申しあげると共に、今後ともこのような国際文化交流の輪が拡大されれば……と念じて



豊かさに質と心を



▲ 敬老の日、婦人部の踊り



▲ 年次大会スナップ

おります。

短期間のクラブ活動乍ら、語れば尽きないものがあります。ここに7年間の年次大会に於けるアワードを列挙して、大方のご推察をお願いする次第であります。

※結成以来のアワード一覧表

年次大会年 受賞アワード

1980年	会員維持賞
1981年	資金調達賞
1982年	若獅子賞
1983年	植樹優秀賞
1984年	P R 情報優秀賞 環境保全優秀賞 合同 A C T 優秀賞
1985年	優秀クラブ銀賞 献眼献腎推進優秀賞 アイ・バンク優秀クラブ賞 国際協調 L C I F 賞
1986年	献眼登録優秀賞 環境保全公衆安全優秀賞

山田町に対するライオンズクラブ刊行誌による紹介、他

※ 千葉エコーライオンズクラブ池沢 稔L編著

「ふるさと探訪紀行」の中から

136P 内陸深く遡上する神の恵の鮭～初詣で山倉大神

145P 静けさの中に歴史の重みを感じさせる愛宕神社

※ 国指定天然記念物「府馬の大樟」。1926年10月20日指定、樹高20m、根回り27.8mの巨木。

但し1969年文化財専門委員 本田正次博士の調査により、実はタブノキ（俗称イヌグス）であることが明らかになった。「山田町府馬～宇賀神社」



▲ 緑の少年団旗



▲ 植樹記念碑

※ 山田町「農村運動広場」には、現在B & G財団による海洋センターが建設中で、既設の野球場・テニスコートに加えてプール・体育館・ボートコース・挺庫等が出来る予定で、私共が力をそそいでいる花と緑の町民憩いの広場作りとあわせて、中心施設が整備されようとしております。

整いませんが、以上クラブの紹介といたします。



豊かさに質と心を

CA-44
23

伊賀寧

スポンサー
館山北LC

ホーム・ステイを終えて

ひと夏のアメリカ・ホームスティ生活を通して、いろいろなものを見物し、また教わりました。それは、アメリカの文化・習慣・言語・ジョーク・優しさなどです。

第2のホストはロサンゼルスで、毎日が観光ツアーのように、朝から晩までどこかに連れて行ってもらいました。アメリカ、特にロスは遊ぶ所がとても多いです。

一方第1ホストでは、家庭的なくらしをさせてもらいました。朝8時に起き、ママの食事の買い物につき合い、食事の手伝い・かたづけ・庭の芝刈り・洗車・犬のシャンプーなど、何をしても不思議と楽しかったです。それはホストと一緒にいる時間がが多く、よく会話をもったからだと思います。ホストはわかりやすい単語を選んで、わざとゆっくりとしゃべってくれました。話しがよくわかるし、自分が理解するまで何度も説明してくれました。また一つの単語がわからないと、他の易しい単語に置き換えて話してくれて、まるで英語辞典みたいでした。時に英和の辞典を引き、英語を教えてくれることもありました。

話す欲求（しゃべりたい気持ち）が大変満たされて、ホストと一緒に暮らしながら、人に対する優しさ・親切さ、人を楽しませる喜びを教わりました。

最後に、このようなすばらしい海外生活とホストにめぐり合わせてくれたライオンズクラブの方々や両親に感謝します。

CO-4
17

橋場朋美

スポンサー
松戸東LC

40日間の滞在を 終えて

私はこの滞在でいろんな体験をさせていただきました。たくさんの場所に遊びに行ったことはもちろんですが、

YE活動-

何よりもアメリカ人とじっくりと話し合って、彼らの思考や行動、家庭のあり方を知ることができた事です。前者の方から話す事にして、まずいろいろ近くの山や湖などに行って楽しみましたが、私の最高に心に残った事は、ウォータースキーをやれた事です。教えてくれるといつても、すべて英語で苦労しましたが、できた時にあちらのお母さんが自分の子供の事のようにほめてくれたのが心に残っています。後者の方では、彼らの考え方は前向きで明るく、ほとんどの主婦や老人は車を運転することができ、趣味の範囲も広いです。夫たちは皿の後片付や食事の支度を手伝ったりして、妻を大切にしています。日本の主婦たちはなんて仕事が多いのだろうと、アメリカに行って、つくづく感じました。

CA-41
18

飯泉晶子

スポンサー
柏中央LC

YEプログラムを終えて

7月19日から8月30日までのアメリカ滞在は、私にとって本当に貴重な体験でした。

単なる観光旅行とはわけがちがうこのホームステイで、私はあらゆる事を考え、あらゆる所に行ってきました。アメリカのすべてを理解できたわけではないけれど、少なくとも、そこに住む人々の温かさはわかったつもりです。

本当の家族同様に暮らしたホスト家庭の方々に、ぜひもう一度会いたいです。私にはもう1つの家庭がアメリカにあるようで、とてもうれしいです。

40日間という長い滞在は、私にとって2度と忘れられない体験になりました。このプログラムに参加できて本当にうれしかったです。ありがとうございました。



豊かさに質と心を

NZ-14
16

室井麻弓

スポンサー
茂原LC

私の帰国報告

40日間というとても長いような気がしますが、過ぎてみると“アッ”という間の40日間でした。

ニュージーランドは見渡す限り山、大自然という感じで、羊が多く、のんびりした国でした。車で走っていると、牛や羊の群れが道路を横切り、通り過ぎるのを10分でも15分でも待っています。日本では信じられない光景でした。

私の最初のホスト家庭は北島のルアカカという所で、農家でした。毎日長ぐつをはき、牛のにおいのついたジャンパーを着て、トラクターに乗って牛や馬に干し草をあげたり子牛にミルクを飲ませたり、毎日が初めての事ばかりでした。ホストファミリーのうち、お母さんや子供達は仕事や学校に行っててしまうので、お父さんといふ時間が多く、一緒に車で買物に行ったり牛の世話をしたり、乗馬をしたりしました。

第2ホストは同じ北島のニューブリマスという町で、ルアカカとは違って都会です。

YEの人達が大勢集まり、富士山によく似たエグモント山に登りました。雨が降ってとても寒い日でしたが、山小屋でパーティしたり、寝袋にくるまりワイワイ夜中までおしゃべりをして、まるで修学旅行気分でした。

第3ホストは南島で、ダニーデンというニューブリマスよりもっと都会的な街でした。古い落ち着いた街並で、夜も街を見下ろすととてもきれいでした。

ニュージーランドは冬でしたが、桜やタンポポが咲いていて“もう春なのかなあ”という感じでした。人々は皆親切で、私が英語を理解できないと何回もゆっくりと話してくれたりしました。相手の言っていることは分かるのに、うまく英語で伝えられず、もっと勉強しておけば良かったと思ったこともありました。

初めは言葉も通じずとまどったけれど、慣れてくると考えている事は日本人とあまり変わらず、国の大ささ・気候・国土、人情が細やかな所など日本とよく似ている

といわれていますが、その事も改めて“なるほど”と感じました。

ニュージーランドはもちろん、日本の派遣生にも友達がたくさんできました。貴重な体験をさせて下さったライオンズクラブの皆様に心からお礼申し上げ、今後益々このYE活動が活発に発展されますよう、お祈りいたします。

NZ-13

茂野礼子

スポンサー
鎌ヶ谷LC

7月18日、成田を出発した時は期待と不安の気持ちで一杯でしたが、6週間のホームステイを終えた今では、もう一度ニュージーランドへ行きたいと言う気持ちです。最初は英語が全然聞きとれなくて、この先ちゃんとやって行けるかなと不安になりましたが、日が経つにつれて段々と耳が慣れ、自分からも声をかけられるようになって、会話をすることが楽しくなってきました。

オークランドを発つ時、第1ホストの人に「英語がずいぶん上手になったね。」と言われた時は、とてもうれしく思いました。第2ホストの家庭は農家の為、羊や牛などを飼っていて、またキウイフルーツやトリートマトなどの果物を栽培していました。それで牛にえさをあげたり、キウイフルーツのつぎ木などもさせてくれて、普段出来ないような経験もしました。

ニュージーランドは緑に囲まれ、湖や公園がたくさんあり、自然に囲まれた美しい国でした。羊が多く、道路の側が牧場だったりで、そこを通り抜ける時には羊が通って行くまで車は待っているのです。とてものんびりと壮大で、美しい国だと思いました。

高校や大学も見学しましたが、高校ではみんなとても自由で、伸び伸びしていました。大学の学生さんは一生懸命に勉強して、将来の事をしっかり考えているような学生さんが多く見られ、とても感心しました。また人々もフレンドリーで、楽しい人達ばかりでした。

習慣や考え方の違いなど、まだ見たこともしたこともないすべての事が、私に強い影響を与えてくれたと思います。とてもいい思い出を作ることが出来ましたことを、



豊かさに質と心を

みな様にお礼申し上げます。またぜひ行きたいと考えています。

MO-7 相川 奈美子 スポンサー
船橋LC

私のアメリカへの旅行は、先ずアクシデントで始まりました。成田空港で飛行機に搭乗する直前に、その飛行機が整備不良だとわかったのです。次の飛行機が来るまで5時間も待ちましたが、無事に最終のスプリングフィールドの空港へ着いた時は、もう夜中の11時でした。何度も飛行機を乗りかえた為に、みんな疲れ切っていましたが、やっとホストファミリーに会うことが出来た時は、もうその疲れなど忘れてしまう程うれしかったです。私が初めてアメリカに着いて感じたことは、やはり「自由の国だ」と言うことでした。

私のホストファミリーは800エーカーもの広大な土地を持っていて、約250頭の肉牛を飼っていました。何度も牛にえさをあげに行くのについて行きましたが、その牛たちの表情といったら、とても人間に飼われているとは思えない程野性的で、牛自身の意志で生きていると感覚です。野性的と言っても荒々しさではなく、いかにもアメリカ育ちの牛という雰囲気を持っていてとても人なつっこく、主人にも甘えたり、えさをもらう時の無邪気さや優しい瞳など、牛とはまるで縁のなかった私でさえも、その牛たちをとても可愛いく思えて來たのです。そんな時、『この牛たちは本当に自由の中で生きているんだな』と思いました。

そして私はアメリカ人が自由に生き、生活し、楽しんでいることを、この旅で身をもって感じました。私は英語はもちろんのこと、アメリカの文化や歴史、アメリカ人の心の温かさを学びました。本当にホストファミリーにもライオンズのみなさんにも、私の両親にも感謝したいと思います。この素晴らしい体験は、一生忘れることが出来ません。ありがとうございました。

C N - 90 1 - 1	キンベリー・ヨーガン	ホスト 成田LC・柏LC
-------------------	------------	-----------------



ユニークですばらしい経験をさせていただいたことに對し、この機會を借りて、ライオンズクラブの皆様にひとことお礼を申し上げます。富士山に登ったことや、日本各地への旅行や夏祭りに行ったことを書くのは簡単ですが、この滞在がいかに多くの事を、私の人生にもたらしてくれたかを十分に書きつくすことは非常に困難です。この海外体験は、私の世界に広い可能性があることを教えてくれました。それに付け加え日本での6週間は、たくさんの人たちとの人生における貴重な友情をもたらしてくれました。私はしっかりとその友情を育てて行くつもりです。日本での思い出は、いつまでも私の心に大切なものとして残ることでしょう。ありがとうございました。

1 N - 4 1 - 1	キム・ジョンソン	ホスト 船橋LC・旭LC
------------------	----------	-----------------

日本滞在中いろいろな所へ行き、いろいろな事を経験しました。しかしこの旅行の中でいちばん良かったのは、人との出会いです。私をホストしてくれた2家族は、自分の家族と同じように好きです。いい友達が沢山できましたし、この6週間は本当に気楽に過ごすことができました。日本を去るのが、考えるとつらくなります。

浅草など東京は美しい所ですが、それよりもホストファミリーの家族の一員として過ごしたことや、そこで自分



豊かさに質と心を

が座っていた場所の方をなつかしく思うことでしょう。おかあさんとテレビを見たり、姉妹と夕食を準備したりすることなどがYEプログラムの良いところです。私の感謝の気持をもっとうまく表現できないのが残念ですが、このプログラムは、私の人生に最もすばらしい経験を与えて下さいました。写真が色あせ、記憶が薄れても、友情は永遠です。Domo Arigato

C N - 68 1 - 3	ルース・ アприл・マーラード	ホスト 鎌ヶ谷LC
-------------------	---------------------	--------------

日本での滞在

皆様方へ

まず最初に、日本に来る機会を与えて下さった鎌ヶ谷ライオンズクラブの皆様にお礼を申し上げます。日本は美しい国です。日本での滞在を本当に楽しみました。

平田さん一家は、愛と尊敬をもって私に接して下さいました。寛大に迎えて下さり、家族の一員として扱って下さいました。家族のひとりひとりを一生忘れることが



できないでしょう。日本を発つときには、別れが辛くなると思います。

滞在中は、いろいろな面で文化の違いを感じました。光栄にもお茶会にまねかれて、お茶を点てたり、他の方々に飲んでいただいたりしました。非常に楽しいひとときでした。また私の訪れた美しい神社やお寺は非常に大きく、細部にまで神経が配られていることに感動しました。

最初の数日間は、旭ライオンズクラブ主催のサマーキャ

ンプに参加しましたが、大変有意義であり、とくに生涯つきあえる友人にたくさん出会うことができました。七夕祭りではパレードに参加しましたし、キャンプでの喜びはいつまでも忘れられないでしょう。

この旅行でのハイライトは、何といっても鎌ヶ谷市長にお会いしたことです。市長は非常に素敵なお方でした。

他にも様々な企画が計画されていましたが、有名なフルート奏者と東京メトロポリタンオーケストラの演奏を聞きに行ったり、横浜・箱根・銀座・浅草・東京などを訪れたりしました。大都市の中で、大勢の人がたがいに肩寄せ合って生活しているのが興味深く感じられました。また成田ではイベントが盛り沢山のカルチャーショーに行きましたが、本当に楽しいショーでした。着物や折り紙・生け花をやってみることができました。日本語の書き方、特にその形が意味を持っていることには感動しました。

日本はだれでもが楽しめる驚くべき国だと思います。日本で過ごした6週間は、いつまでも良い思い出として心に残ることでしょう。親切にして下さって本当にありがとうございました。ライオンズクラブ・インターナショナルがこの交換留学プログラムを行っていることは本当にすばらしいことだと思います。私はこのプログラムに参加させていただいたことをうれしく思います。

C N - 69 1 - 3	キタ・ デニース・ハート	ホスト 木更津LC
-------------------	-----------------	--------------

最後の3週間を千葉で過ごしました。いちばんおもしろかったのはYEキャンプで、はっぴを着ておみこしを担いだことです。楽しい祭りに参加して7日の木曜日に家に着きましたが、その日は、ホストの両親が共働きなのでほとんど何もできませんでした。

姉が3年前にお世話になったホストファミリーを訪問させてもらい、楽しませてもらいました。昼食をいっしょにとったり、お話をしたり、写真を見たりしました。次の日、教会の人たちといっしょに車で山形へ行きましたが、4時間もかかったのでたいへんでした。しかし着いてからは山に登ったりして、楽しくすばらしい体験でした。



豊かさに質と心を

た。千葉に帰ってからは、今度はホストブランザーといっしょにボーリングをしたり、映画に行ったりして楽しみました。またジェットスキーをしましたが、今までやったことがなかったので、非常にすばらしい体験でした。それと遊覧船にも乗りました。またある日、結婚式の着物を着て写真を撮ってもらいました。まるで夢のようでした。私はまたディズニーランドへも行きました。千葉で本当に楽しく過ごさせていただきました。ホストファミリーとの生活はすばらしかったし、みんないい方で親切でした。ホストマザーはいっしょにけんめいに私と話そうしてくれましたし、こまかい所まで気を遣って下さいました。おばあさんもいい方でした。私は本当に彼女が好きです。少しですが英語が話せましたし、いつも私によくして下さいました。ホストブランザーとはあまり互いに話しませんでしたが、やさしくて親切でしたので楽しく過ごしました。ホストファーザーは少し英語が話せましたし、本当にいい方でした。ディズニーランドに連れて行ってくれましたが、なんと彼がスペースマウンテンに乗ったのです。最後におじいさんです。彼も英語を少し話せましたが、私に本当によくしてくれました。彼は医者ですが、私が肉体的にも精神的にも疲れていたとき、それをみんな吹き飛ばしてくれました。帰国したら、日本とホストファミリーを恋しく思うことでしょう。この家庭に滞在できて本当に幸せでした。

ED-15	ダフ・レオード	ホスト 船橋東LC 八千代LC
-------	---------	--------------------

これから何が起こるかわからなくて、私は成田で飛行機を降りるのをためらうしまつでした。でもそれからはすばらしい日本の6週間となりました。色々な美しい場所を訪れ、親切な人々に会い、日本での生活のすべてを学びました。

最初のホストは、八千代に近い千葉のミヤモトさんのお宅でした。3週間はとても忙しいスケジュールでした。県下で一番大きな高校を訪れ、ホストブランザーの中学校へも行きました。八千代と千葉の街へも連れて行ってもらい、2度の機会にちょっとした旅をしました。成田山や

カルチャーセンター、鎌倉の古い興味深いお寺、それに日光や那須へも行きました。また私はYE学生として公式の場にも出席、八千代市長と会い、ライオンズクラブの例会でお話しました。公式行事とは別に、東京ディズニーランドへも2度行きました。

私が一番好きだったのは、東京への旅行です。たくさんの電車に乗るのが好きでした。鳩バスの学生グループと東京タワーや皇居の様な有名なところを訪れました。

ホストシスターと一緒に旅で、私達は原宿にしばらくの間居ました。東京での一泊、国会や銀座でのショッピング、共に楽しみました。

旭でのYEキャンプで、ミーティングや他の学生と楽しくお話が出来ました。夏のキャンプ後、八千代と船橋と船橋東ライオンズクラブのパーティーでのスピーチ。日の出を見る為の富士山への旅。夜遅くの登山、それと東北への旅。全てを楽しみました。

ホストファミリーの皆さんにお礼を申し上げます。その温かいご親切に。

CN-217	クリスチン・ マリエ・マーレット	ホスト 銚子LC・旭LC
--------	---------------------	-----------------

日本旅行は価値あるものでした。多くのことを学びました。それは、伝統的な日本舞踊・お茶会・お祭の様子を経験することによって学べるのです。これらのことにはすばらしい先生がいて、みんな両方のホストファミリーの方々です。コミュニケーションはむずかしいものでしたが、彼等はとても一生懸命やってくれました。その為か、いく分やさしく思えたのです。

私は銚子ライオンズクラブと旭ライオンズクラブに先ずお礼を申し上げます。とてもすばらしい方々でした。特にホストファミリーのコダテさんとイイジマさんです。とても歓迎していただきました。私にとってあなた方がいるからこそ、日本は特別なのです！

日本について学ぶことは、今迄で一番むずかしい事と言えるでしょう。なぜなら、私の一部が今ではまるで日本にいるかのように感じますから。たくさんの友達が出来、今後も友達でいられる人達だから。決してあなた方



豊かさに質と心を

を忘れませんし、幸せな時は共に分かち合いましょう。
そして何時か、再びあなた方の家族の一員にして下さい。
この度のこと、お礼申し上げます。最後にYE企画はす
ばらしいものでした。ありがとうございました。

E - 2 20	城 内 洋 子	スポンサー 松戸中央LC
-------------	---------	-----------------

百聞は一見にしかず！

“百聞は一見にしかず”これが英国で過ごした日々を振り返って最も強く感じることです。私はウェールズで二番目に大きい町レクサムと、イングランドの歴史的な町シェルーズバリーに滞在しました。城跡や庭園を訪れたり、学校で折り紙を教えたり、ロンドンの方に旅行したり、数々のパーティーに出席したり、思い出は尽きません。皆さん親切な方ばかりで、私にこと細かに気を配って下さいました。特に同じ年頃の女の子とは様々なことを語り合い、いろいろ考えさせられました。

滞在中、よく日英両国の違いについて聞かれました。確かに英国の方が生活を楽しみ、細かい点ではかなり違います。しかしそれも同じ人間の生活という点から見ると、とるにたらないように感じました。

この貴重な体験をこれから何らかの形で活かし、新しくできた友人とのきづなを保っていきたいと思います。お世話になった皆様、本当にいろいろありがとうございました。

MO - 6 21	長 谷 川 真 弓	スポンサー 船橋北LC
--------------	-----------	----------------

私のアメリカ体験

飛行機の出発5時間遅延事件から、私のアメリカ体験は始まった。

家族に会えたのは、夜中の11時頃。不安と感激の中で、スヌーピーと花束をもらった。

“Are you hungry?” “Yes, I’m hungry.”



これが、アメリカの家族と交わした最初の言葉であった。これから先、“hungry”という言葉で何度もからかわれた事は言うまでもない。

8月26日から2週間旅行をした。ミズーリからオクラホマ→ニューメキシコ→コロラド→ワイオミング→サウスダコタ→ネブラスカ→アイオワと8州を旅してきた。このスケールの大きさは、日本では考えられない。ロッキー山脈の湖で釣をしたり、Mt.Rushmoreという岩に4人の顔が彫ってある所に行ったり、本物のサンタクロースに会ったりした。モーターホームの中で家族5人ずっと一緒にいたことで、私達は本当の家族になれた様な気がする。旅行がおわる頃から、6歳の弟は私を“シジー（お姉ちゃん）”と呼び、いつもそばを離れなかった。

はじめは何度も聞き返していた英語も、いつのまにか、私の言った冗談にみんなが笑うようにまでなっていた。

旅行もアメリカでの日常生活も家族も、何もかも一生忘れることのできない大切な思い出である。中でも、「結婚する時には、日本のお父さんとアメリカのお父さんにきちんと報告するんだよ。」とトムが言った時、私はこの人の娘なんだと思って、心からうれしかった。

言葉で表現できない程のつらさと、言いたいことをうまく口に出せないくやしさを味わった最後の日。涙の中で家族と別れた。「またいつか、必ず……。」

日本の空港に着いた時、ミズーリ組9人の荷物だけ出てこなかった。私達が荷物を受け取ったのは、それから2日後のことであった。このスーツケース行方不明事件は、まだ記憶に新しい。こうして私のアメリカ体験は、おわった。



Bring Quality To Life

豊かさに質と心を

口では表せない多くの事を、私は身体と心で学んできました。この様な経験をする機会を与えて下さったライオンズクラブの皆様に、本当に感謝しています。ありがとうございました。

CA-43 19	小林郁子	スポンサー 佐原LC
-------------	------	---------------

私は初めオレゴン州のセーレムに滞在し、次にカリフォルニアのラ・カナダに滞在しました。どちらも陽気で気さくな人達ばかりで、とても親切にしていただきました。約40日間アメリカの家族の一員となって生活していたわけですが、一番のカルチャーショックというのは、やはりライフ・スタイルの違いでした。ファーストファミリーのおかあさんは庭に野菜を栽培していて、料理もいろいろ工夫して出してくれたのですが、セカンドファミリーでは料理は一切作らず、全て外食という生活でした。というのは、おかあさんが幼稚園の園長先生でちゃんと仕事をあるし、料理することが嫌いらしいのです。ですから朝6時ごろに家をでて、レストランで朝食をとってから遊びにいくという日が何日もありました。また、男性が非常に女性に対して紳士的ということにも驚きました。皿洗いやドアの開け閉めをお父さんがするなど当たり前で、日本では一般に女性がすべきと考えられていること、例えば掃除や裁縫まで、全てお父さんがやっていました。

その他、日本と比較して驚くことはたくさんありました、今滞在中の生活を振り返ってみると、今まで過ごしてきた夏休みの中で一番充実した、有意義な夏になったと思います。この様なすばらしい経験のチャンスを与えて下さったライオンズの皆様、本当にありがとうございました。

F - 3 22-M	藍 高 明	スポンサー 千葉LC
---------------	-------	---------------

夢にまで見たフランス！

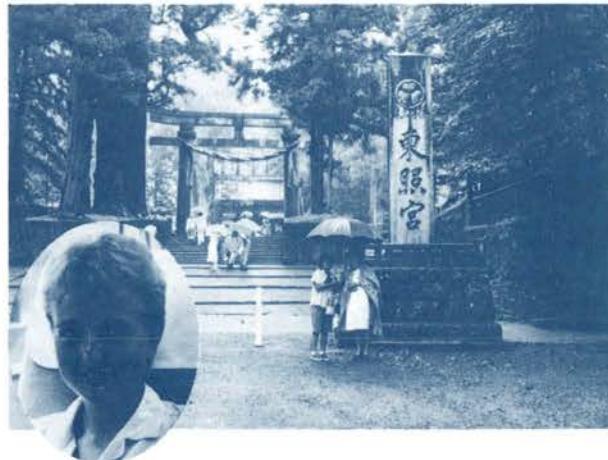
今度の旅が、私にとって生涯忘れる事のできない貴重

な経験になったことを確信しています。

私が滞在したホスト家庭はフランスの東側で、ドイツとの国境に近い所でした。人々は通常、アルザス語という言語で会話をしています。初級フランス語を終えた私ですが、あまりにもフランス語と違うので全く理解できませんでした。心配になってパリから一緒に来たホストの友人に聞くと、彼もさっぱり理解できないということでした。結局この地域では、英語で会話をしました。

この様な毎日の生活から私が一番強く感じた事は、「この国民は、徹底して個人主義だ」という事です。パリのシャンゼリゼやルーブル美術館の華やかさよりも、むしろこの様なフランス人のライフ・スタイルや物の考え方方に感動しました。そして、この様な貴重な機会を下さったライオンズ国際委員の皆様にお礼申し上げます。

DJ-19 1-3	メッテ・ハーガード	ホスト 下総中山LC・柏LC
--------------	-----------	-------------------



この機会にまず日本に迎えていただいたことと、家庭に滞在させていただいたことに対し感謝いたします。この交換プログラムは、若者が他の國の人々の生活を体験するという意味で、たいへんいい企画だと思います。それに感謝いたします。

前から日本はおもしろい国だと思っていました。日本について聞いていたことは、たとえば自動車やテレビ・ラジオといったいい物を作り出すということや、日本人は仕事が中心で、雇用者は従業員を家族の一員と考えているということ、また日本人どうしの関係が密接である



豊かさに質と心を

6

ために、外国人を好まないということでした。しかし、実際には最高のもてなしを受け、みんな親切で、しかも何か問題があると喜んで助けてくれました。

私たちの国とはいくつかの点で異なりますが、5週間の滞在でいろいろなことを学びました。私の人生の中で、たぶん最も貴重な体験であったといえましょう。

最初の家庭は市川の松丸家で、7月13日から8月2日まで滞在しました。いろいろなところを見せていただき家族の一員のように扱われとてもうれしく感じました。

以下の所へ連れて行っていただきました。

- | | |
|-----------|-------------|
| ○国会議事堂 | ○お祭り |
| ○二重橋 | ○寺社 |
| ○銀座 | ○富士箱根伊豆国立公園 |
| ○幼稚園 | ○お茶会 |
| ○相撲 | ○美術館 |
| ○浅草 | ○東京都内各所 |
| ○動物園 | ○サボテン公園 |
| ○ディズニーランド | |

2番目の家庭は柏の千田家で、8月2日から15日まで滞在しました。こちらでも家族の一員と感じましたし、いろいろな所へ連れて行っていただきました。

行った先は下記の通りです。

- | | |
|-------------|-------------|
| ○柏祭り | ○小田原城 |
| ○日光 | ○サンシャイン・シティ |
| ○筑波大学 | ○千葉県庁 |
| ○海 | ○東京 |
| ○新幹線で東京から三島 | |

すべてが興味のあるところで、楽しませていただきました。いろいろな所に行きましたが、それぞれが“日本なのだなあ”と思いました。8月5日から7日まではキャンプに参加しましたが、水泳や祭り、観光などのアクティビティがあり、香取神社・鹿島湾・銚子へも行きました。

CL-17 1-2	キャリー・メイヤー	ホスト 柏中央LC 市川北LC
--------------	-----------	--------------------

ライオンズクラブ 333-C 地区の皆様へ

日本に来させていただき、本当にありがとうございました。日本について多くのことを見、教えていただきました。みなさん本当に素敵な方です。私が初めて日本に行けると知った時は、これほどすばらしい人に会えると



は思ってもいませんでした。ホームシックなどは全くありませんでした。所が今は、みなさんに会えないことを寂しく思っています。

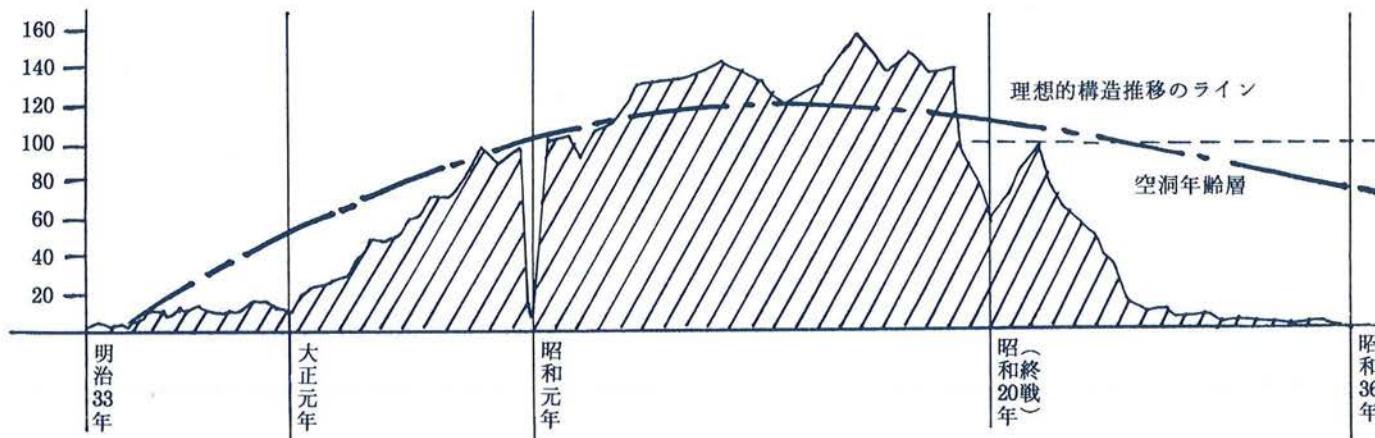
日本はいろいろな点でカナダとは違います。たとえば人。お互いの接し方がすばらしいと思います。日本では街を歩いていて全く知らない人に話しかけることができます。これはカナダでは非常にまれなことです。また、宗教の表現方法が異なります。カナダにはお寺とか神社はありません。日本では宗教を誇りにしています。私はそれを羨ましく思いました。もう一つ、私が異った経験をしたのが食事です。カナダのとは全く違いますが、食べてみるとほとんどが好きになりました。少し話は変わりますが、レストランの外にあるサンブルを見たときは驚きました。カナダにはありませんし、非常にいい考えだと思いました。

日本は偉大です。私は多くのことを学び、経験しました。日本に来させていただきありがとうございました。みなさま方と日本を恋しく思い出すことでしょう。

Arigato gozaimasu,Sayonara



豊かさに質と心を



333-C地区ライオンズメンバーの年齢構造

333-C地区ライオンズメンバーの年齢構造の調査をしたところ、やはり大正年代の熟年層の大健闘が目につきました。昭和21年から36年までのメンバー数が410名ですが、これは若年層で働き盛りであり、なにかと多くのいろんな事を学び、吸収しなければならない大切な年代であることからか、やや少なめに感じられます。然しこれも地域社会との深い関わりや情況が、様々な構造をつくり出していることと思います。昭和元年から終戦までの年代層が主体的と見られ勝ちですが、大正生れの年代とのバランスが実にすばらしいと思いました。

A C T 構造と年代の関係についてのバランスは、各クラブの方針との関わりもありますが、客観的に見る

と、金銭の奉仕と労力の奉仕の二つに大別されますが、金銭の拠出と時間労働への奉仕内容のバランスはどうだろうかと言う問題が出てきます。若年層とのバランスを見ることが一番いい結果でしょうが。この部分に焦点を当てて、メンバーの構造を考えられたらと思います。

参考までに最高年齢者は「九十九里ライオンズクラブの明治33年7月10日生 飯高 孔 L」、最低年齢者は「柏ライオンズクラブの昭和36年5月27日生 田中一二夫 L」となっております。

各クラブには、この調査にご協力下さいまして誠にありがとうございました。

PR情報委員長 L.高尾競一
(房州白浜L.C.)

1RPR情報委員 L.田邊誠二
2RPR情報委員 L.平田 稔
3RPR情報委員 L.中村新一郎
4RPR情報委員 L.宮川太三郎
5RPR情報委員 L.伊藤正章
6RPR情報委員 L.磯貝豊司
7RPR情報委員 L.及川精一
地区ニュース編集委員 L.杉山多男
地区ニュース編集委員 L.青木芳政

昭和62年2月10日印刷
昭和62年2月13日発行
発行所・千葉市問屋町1番地55号 シーオービル6F
ライオンズ国際協会333-C地区
キャビネット事務局
印刷所・館山市北条2645番地
大和印刷有限会社
TEL 0470(22)0405